

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

令和6年 9 月 24 日 中津川市立南小学校

司会

授業で、市民の願いを実現するために市の政治の取り組みを学習してきた。今日は、よりよい未来の中津川を作るために一人一人が市民として成長することを狙いに頑張りましょう。

参加児童

災害対策を行い、市民だけでなく観光客なども安心して過ごせるようにしたい。防災対策についてインタビューしたら、命が助かって元々の生活に戻るまで避難所で生活する必要があるため、避難所生活のシミュレーションが必要という意見や、学校の先生からは登下校中の避難訓練が必要という意見があった。登下校中の訓練をしたことがないので、帰宅した子と学校に避難した子の安否確認方法などを確認するために行うと良いと思う。また、市ホームページによると耐震化が不十分な住宅は約 12,000 戸あり耐震化を進めることが課題。いつ地震が起こるかわからないので、今のうちに避難場所の確認や整備などをして備えることが必要。

参加児童

ペットも避難可能な避難場所について提案する。調査すると、ペットを飼っている人はペットと避難できる避難所が必要と言っていた。みんなが安心できる中津川市にするため、ペットと避難できる避難場所を作って欲しい。

先生

中津川市は市役所や消防署などが川の近くにあるから危ないという点に気付き、どうにか安全な場所に移せないかという意見もあった。

市長

皆さんこんにちは。今日は大変貴重な時間をいただきありがとうございます。

市役所や消防署などが中津川沿いにあるので危ないと思っている。建物が古いので、建て替える際は今の場所でもいいかも含めて考えていくべき。

住宅の耐震化については昭和 56 年に法律ができ、地震に強い家しか建てられなくなったため、新しい家はもう耐震化されている。市内にある 27,960 戸の家のうち 11.8%の 3,288 戸がまだ耐震化ができていない。そのうち約 2,700 戸が木造で昭和 56 年以前に建てられた家。早く耐震化をすることが課題の 1 つ。

地震はいつどこで起こるかわからないため、登下校中の避難訓練をやった方が良いと思うが、どうやるかがとても大事。登下校中に地震があった場合、どうやって皆さんが下の学年の子たちを守ればいいのかなどを考えなくてはいけない。それは学校、保護者の皆さん、中津川市が一緒になって考えるべき。

避難時のペットの話では、災害時の避難所が市内に 60 か所あるが、明確にペットと避難できると決まっているところは残念ながら 1 つもなく、実際に避難する時にどうするか決める状況。ペットを飼っている家もたくさんあるので、どうするかはとても大切。

参加児童

インターネットで調査したら、中津川市の人口は減少している。いろいろな立場の人が暮らしやすく、いつも健康で笑顔があふれるまちにするために健康面を大切にしたい。例えば歩道橋を多くすると、高齢者は歩きやすく認知症になりにくくなり、子どもが交通事故にあうことやけがも減ると思う。次に、木や緑を多くすると安らぎが得られ、高齢者の方はうつ病になりにくくなると思う。また、中津川はポイ捨てが多いので、ごみ箱を増やし、いつ見てもきれいだと思える暮らしやすいまちづくりをすれば人口もこれ以上減ることはないと思う。

参加児童

インターネットで調べた中津川市の人口は 78,930 人で、多治見市は 110,400 人。多治見市は 2000 年をピークに人口が年々減少しており、対策として令和 6 年から 13 年までの 8 年間で、人口減少させないために第 8 次総合計画を最上位計画として取り組んでいる。中津川市の人口を増やすためには、会社の儲けを少しだけ削り、働いている人の給料を上げ、その人たちに物を買ってもらう。会社の儲けを削った分、その人が仕事を頑張ってくれると思うので、会社の儲けが増えるかもしれない。会社の儲けは増えるし、働いている人の給料も増え、物が買われて税金が入ってきて、また新しい公共施設を作ることができて人も増えると考えた。

参加児童

新しく中津川市にきた人向けに交流会を行いたい。移住してきた人は相談先が分からず困ることがあると思う。図書館などのスペースで集まりを開催し、相談し合えるスペースを作れたらいいと思う。

市長

全国の市町村でも人口減少をどうしたら解消できるかを考えている。でも、これをやれば人口が増えるという特効薬や秘策がない。

歩道橋を増やし、高齢者の方や子どもたちが安全に暮らせるまちをつくる。また自然が豊かで暮らしやすいとPRすることもとても大事。中津川市は約 80% が山や森。それをしっかりと生かし、こんなに素敵な自然があるよとPRしていかないといけない。

交流会も非常に良いこと。中津川市には年間約 200 人の新規移住者がいて、移住してくる人たちは交流会をそれぞれの地域などで行なっている。もっとできるようになれば良いと思う。

給料を増やして循環させていく話。非常に良い。そのために、市内企業に社員さんにもっと給料を出してもらわないといけない。お金を使いたいと思える場所や施設、飲食店などを中津川市に作ることも大事。

参加児童

周りの人に調査したら、本町から新町への道路の植木が道路を塞いでいて事故になりかねないという意見や、他の県や市から来た人が道を逆走していることがあるという意見が見られた。道路だけでなく、歩道も工夫して事故の少ない中津川市を作りたい。はじめに、歩道の植木などによる危険性のチェックと対策。植木の場所を変え、ミラーを設置するなど左右が見えるようにする。次に、車道の一方通行の道をチェックし、

その対策。一方通行の道に標識やポスターを掲示して気をつけてもらう。

参加児童

調査した内容によると、高齢者の方は思いやりがあったら嬉しいとのこと。思いやりのあふれる中津川市を作りたい。はじめに、人目につくところに看板を設置して、チラシを配るのはどうか。多くの人が思いやりについて考えてくれると思う。次に、思いやりは公共施設の中にもあると良いと思う。ひと・まちテラスのように階段の手すりに点字シールを貼ったりすれば、たくさんの人が利用しやすくなると思う。

参加児童

コミュニティバスについて調査したら、瑞穂市はコミュニティバスが中津川市よりも多く、保護者がついていけば幼児は無料になることが分かった。気軽に使えるコミュニティバスの交通量を増やし、笑顔いっぱいの中津川市を作りたい。

市長

私も逆走車を見たことがあり、とても危ないので標識などを作ることはとても大事。また、逆走車をよく見る場所などがあればまた教えてほしい。

周りの人のことを気遣う思いやりがないと世の中はうまく回らない。自己主張ばかりしていると仲間もできない。市内にはたくさん公共施設があるが、古い施設は点字シールが備わってないところもある。また改めて点検し、少しずつ改善していきたい。

市民の皆さんからコミュニティバスを走らせてほしいという声はたくさんある。特に高齢者の方が病院や買い物に行くために利用したいと。でも走れる場所が法律で決まっている。特にこの南小学校の周りはタクシーが呼べて、駅に近く路線バスも走っているのでコミュニティバスを走らせることができない。しかし、困っている方がたくさんいるので変わってくると思う。なかなかタクシーが呼べないエリアや、路線バスが走っていないところでは、市内でもコミュニティバスはたくさん走っている。それ以外のところでも対策に取り組んでいきたい。

参加児童

調査した内容によると、現在給食費が無料の市町村がある。若い人たちが住みたくなる中津川市にしたいので給食費を無料にしてほしい。難しければ最初は半額で、環境などがそろったら全額無料にする。子どもに優しいまちで子育てをする人たちは多い。

参加児童

インターネットで調査した内容によると、中津川市の空き家は令和 3 年度時点で 1,140 戸もある。空き家になるべく減らすため、空き家を地域で交流できる場にして欲しい。また、空き家バンクは住みたい人を募集できて人口増加にもつながるので、もう少し利用して欲しい。土地を活用することもできると思う。

参加児童

誰もが住んでみたいと思える中津川市を実現するため、観光客を増やしたい。調査した内容によると、市

の観光客数は、コロナウイルスなどの影響もあり大幅に減少しており、市の税収の減少にもつながっている。そこで、地域の伝統文化や歴史ある町並みを生かした観光を PR するため、地域の伝統文化などでもてなし、歴史ある中山道や苗木城などの観光資源を生かす新たなイベントを行う。多くの人に魅力をどんどんアピールして移住してもらおう。

参加児童

「ぎおんぼ」の歴史について調査したら、幕末からずっと続いている。他の地域では祭りなどの宣伝を駅や県外でも行い、たくさんの人が訪れている。地域の伝統がずっと続く中津川市にしたいので、地域の伝統行事の魅力をもっと多くの方に知ってもらいたい。そのために、「ぎおんぼ」の宣伝をたくさんしてほしい。例えば、SNSなどで「ぎおんぼ」の情報を発信したり、ポスターを貼ったりするのはどうか。そうすれば魅力をもっと知ってもらえると思う。

参加児童

人口を増やすために、ごみのポイ捨てなどへの対策が必要だと思う。市長や知事などがホームページを通して市民などに呼びかけている市町村もあった。高齢者はあまりホームページなどを見ないため、広報紙などを通して届けられればいいと思う。

参加児童

中津川市は車のガスやごみの影響などで、大気や川が汚れていることが分かったので、ひと・まちテラスなどで市民の皆さんに市の環境問題の現状を知ってもらえる展示などを作るのが良いと思う。

参加児童

ごみ箱があふれていたりするのでもっと大きいごみ箱の設置と、設置数を増やすことを提案する。

参加児童

子どもたちが元気でいられるまちにするために、体育館やさまざまな施設へのエアコン設置を提案する。

司会

今日の対話集会は単元の学習のゴールだが、みんなが中津川市民として考え続けるスタート地点。今日をスタートに、よりよい中津川市を作る市民として考え始めてほしい。

市長

中津川市には地歌舞伎などの伝統芸能があり、観光名所もたくさんある。有名な方が通っていた学校だから、南小学校も観光名所になるかもしれない。中津川市には、馬籠宿も苗木城もある。そういった観光資源を活用して観光客にもっと来てもらえると良い。苗木城では令和 8 年に築城 500 年を迎えるので、市として大きなイベントを計画している。皆さんにも携わってもらいたいし、こうすれば観光客が増えるのではないかと、こんな企画だったら小学生みんなが行きたいというようなことがあればぜひ教えて欲しい。

1 月に市長になり給食費の無償化に取り組んでいる。幼稚園・保育園・こども園は無償化を実現した。市内

の小中学生全員の給食費を無償化すると、年間で 4～5 億円かかる。市だけでなく、県や国と一緒に取り組んでいきたい。すぐできないかもしれないがやりたいと思っているので少し待っていてほしい。

空き家は中津川市にも増えてきているが、持ち主の了解が必要ですぐ活用できない。しかし、空き家を活用してまちを元気に活性化していくことはとても良いアイデア。空き家バンクにもたくさん登録してもらっている。空き家を貸したい人と欲しい人をつなげることを引き続きやっていきたい。

伝統行事「ぎおんぼ」は中津川市全体の子どもたちがやってるわけではない。おいでん祭の中の 1 つに「ぎおんぼ」があり、おいでん祭を通してPRをたくさんしている。皆さんからSNSで発信することもできるかもしれない。ぜひ一緒にPRして、参加者を増やして盛り上げていきたい。

ポイ捨てをなくして、まちを綺麗にすることはとても大事。そのために、大きなごみ箱をたくさんおけばいいかという、それで良い面もあれば悪い面もある。花火大会の屋台周辺でごみ箱をあまり見なかったと思う。ごみを持ち帰ってもらうためにあえて置いてない。ごみ箱を置いておくと何でも捨てられてしまう。自分のごみは自分で持ち帰ってもらいたい。

体育館のエアコン設置もすぐにはできないが、まず特別教室にエアコンを設置していく。体育館は規模の大きさ、使用頻度を考えると最後になるが、たくさんお金がかかるので、市だけでなく県や国と一緒にしてお金を補助してもらいながら考えていきたい。

全体を通して、皆さんから中津川市を良くしていこうという提言をたくさんいただいた。夏休みに自分で、友達と、家族の人に相談したり、インタビューしてくれたり、どうしたら中津川市が良くなるかを考えてくれて本当に嬉しいしありがたい。

皆さんの提言すべてに目を通した。高齢者向けの絶景ポイントとか、元気にするための挨拶運動、食品ロスを減らすなどがあった。共通しているのは、もっと中津川市が元気なまち、にぎやかなまち、安全なまちになるといいなということ。そんなまちにしていかなきゃいけない。皆さんからいただいた提言は、これからのまちづくりにとても参考になる。良い中津川市を皆さんと作っていききたい。今日提言しなかった子もいるが、提言をしたくない自分を主張することもとても大事なこと。したから良い、してないからダメということではなく、したくないと主張したみんなはすごい。これからもう 1 歩踏み出して、自分の話したいことを話すこともやってもらいたい。皆さんは来年中学生になり環境が変わってくると、自分を主張する機会が今より多くなるかもしれない。そのとき言うておけば良かったと後悔するのではなく、勇気を出して友達と話してみることが大事。必ず良かったと思える。ぜひ自分の思いには自信を持って、意見を言ってもらいたい。

中津川市は、約 10 年後リニアの中央新幹線の駅ができる予定。東京まで 1 時間弱、名古屋まで 13 分で行けるようになる。さらに 10 年後、名古屋から大阪まで延びると、大阪までも 1 時間以内で行けるようになる。これからの中津川市は、皆さんがどんなまちにしていこうかを考えてもらいながら作っていくことがとても大事。もっと皆さんのこんな中津川なら人が来る、住みやすいまちになるという意見を聞かせて欲しい。ありがとうございました。